

よくわかるGX2040ビジョン 第2回

LIVE配信あり



-排出量取引と北九州におけるGXの取組み-

「GX2040ビジョン」は、持続可能な経済成長と脱炭素社会の実現を目指す国家戦略です。

第152回エコ塾はエコテクノ2025の会場より



「排出量取引制度」と、北九州地域におけるGXの先進的な取組み

について、専門家や自治体・地元企業による事例を交えてわかりやすく解説します。

GXに取組むヒントが満載です。ご参加を待ちしております！

1 基調講演
13:35~14:15

GX実現に向けた
GX推進機構の役割と機能

GX 推進機構
Acceleration Agency

GX推進機構
理事

梶川 文博 氏



脱炭素と日本の競争力強化・成長の同時実現のドライビングフォースとして、昨年7月からGX推進機構は業務開始しました。今回は、排出量取引制度の運営を中心に、金融支援、GXに関するハブ機能（調査・研究等）の3つの当機構の機能についてご説明いたします。

2 排出量取引動向
14:15~14:45

GX-ETS時代におけるクレジットの重要性と企業がとるべき戦略

CarbonEX

CarbonEX
株式会社
Co-CEO

陰山 貴之 氏



国内No1の登録者を誇る取引所を運営するCarbon EXの視点から今後のGX推進法・GXETSにおける、カーボンクレジットの重要性について解説し企業としてどのように向き合っていくべきなのか、また北九州にどのようなビジネスチャンス（クレジットの創出）があるのかを解説します。

3 自治体取組み
14:45~15:15

北九州市における
GXの取組みについて

KTQ-GX
Challenge 2050

北九州市
産業経済局
未来産業推進部
GX推進担当

政府が「GX2040ビジョン」で掲げるGX産業立地を視野に、北九州市の持つ全国屈指のGX関連のポテンシャルと、産学官金オール北九州による「北九州GX推進コンソーシアム」の取組みについてご紹介します。

4 企業取組み
15:15~15:35

太陽光パネル大量廃棄時代
に向けた熱分解リサイクル
によるGX実現

新菱
Shinryo

株式会社 新菱
サーキュラーエコノミー
事業部門

佐藤 佑樹 氏



2032年以降に大量廃棄が見込まれる太陽光パネルを、日本初の熱分解方式で処理し、部材ごとに高度に分別・リサイクルを実現するとともに、特に高品位なガラスは「水平リサイクル」を実現。
GX実現に向けた株式会社新菱の最新の取り組みをご紹介します。

5 支援施策紹介
15:35~15:45

中小企業のGX推進
に向けた支援施策の
ご紹介

九州経済産業局
資源エネルギー環境部

会 場
参 加 費
申 込 方 法

AIMビル 3階 311会議室（北九州市小倉北区浅野3-8-1）
無料
QRコードを読み取り、専用ページからお申込みください。

